DRUG INFORMATION

２００９　Ｎｏ．１８　　平成２１年９月７日発行

１．医薬品の採用・中止・変更について……1
－平成 21 年 9 月 3 日　薬事委員会結果報告－

２．新規登録医薬品情報……3

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室
（内線７０８３）

※　Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp（担当：安田）

医薬品の採用・中止・変更について　－平成 21 年 9 月 3 日 薬事委員会結果報告－

採用（新規試用）医薬品

医薬品名（成分名）	薬品分類
クラビット錠 500mg（レボフロキサシン水和物）	広範囲経口抗菌製剤
調剤用パンビタン末（配合剤）	総合ビタミン剤
ピモベンダン錠 1.25mg「TE」（ピモベンダン）	心不全治療薬
プレタール散 20% 0.5g/包（シロスタゾール）	抗血小板剤
アドエア 50 エアー120 吸入用（サルメテロールキシナホ酸塩、フルチカゾンプロピオン酸エステル）	喘息治療配合剤
テラジアパスタ 10g/本（スルファジアジン）	皮膚疾患治療剤
アピドラ注ソロスター 300 単位（インスリングルリジン）	超速効型インスリンアナログ製剤
注射用ペニシリン G カリウム 100 万単位（ベンジルペニシリンカリウム）	ペニシリン系抗生物質製剤
リスパダールコンスタ筋注用 25mg（リスペリドン）	持効性抗精神病剤

※ 平成 21 年 9 月 29 日より処方開始予定です。

採用中止医薬品

医薬品名（成分名）	薬品分類
インヒベース錠 1mg（シラザプリル）	ACE 阻害剤
ダオニール錠 1.25mg（グリベンクラミド）	経口血糖降下剤
パシーフカプセル 30mg（モルヒネ塩酸塩水和物）	持続性癌疼痛治療剤
パシーフカプセル 60mg（モルヒネ塩酸塩水和物）	持続性癌疼痛治療剤
パシーフカプセル 120mg（モルヒネ塩酸塩水和物）	持続性癌疼痛治療剤
メプチンミニ錠 25μg（プロカテロール塩酸塩水和物）	気管支拡張剤
レキップ錠 0.25mg（ロピニロール塩酸塩）	ドパミン D_2 受容体系作動薬
シグマート注 12mg（ニコランジル）	不安定狭心症・急性心不全治療剤

※ 在庫がなくなり次第、処方中止とします。

製剤変更医薬品

医薬品名〈旧製剤 ⇒ 新製剤〉	薬品分類
強力ネオミノファーゲンシー静注 20mL ⇒ 強力ネオミノファーゲンシーシリンジ 20mL	肝臓疾患用剤、アレルギー用薬
生食注シリンジ「SN」5mL ⇒ 生食注シリンジ「SN」10mL	生理食塩液
ヘパリン Na ロック 10 シリンジ 50 単位 ⇒ ヘパリン Na ロック 10 シリンジ 100 単位	ヘパリンロック液

※ 旧製剤の在庫がなくなり次第、製剤変更とします。

その他の製剤変更依頼

医薬品名〈旧製剤 ⇒ 新製剤〉	薬品分類
ミノフィット注 40mL シリンジ ⇒ 強力ネオミノファーゲンシー静注シリンジ 40mL	肝臓疾患用剤、アレルギー用薬

※ 両製品の有効性・安全性について臨床評価した後に結論を出すこととします。

販売中止医薬品

医薬品名（成分名）	薬品分類
ノベクタン L スプレー（β-エトオキシエチルメタアクリル樹脂、他）[1]	殺菌性プラスチック包帯材
エフェドリン「ナガキ」散 10%（エフェドリン塩酸塩）[2]	気管支拡張・鎮咳剤
ビオタミン散 10%（ベンフォチアミン）[2]	ビタミン B_1 誘導体
ノルディトロピン S 注 5mg（ソマトロピン）[2]	ヒト成長ホルモン製剤

1）院内採用品目：在庫がなくなり次第、処方中止とします。
2）院外採用品目：平成 22 年 3 月 31 日付で処方中止とします。

新規登録医薬品情報

略語等は病院医薬品集を参照して下さい。

＊レボフロキサシン水和物　Levofloxacin Hydrate
【商】クラビット　Cravit　第一三共
内用：錠剤　1 錠中 500mg　［547.2 円/錠］
【効】❶表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、癤瘡(化膿性炎症を伴うもの)、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎(扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む)、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎(急性症、慢性症)、精巣上体炎(副睾丸炎)、尿道炎、子宮頸管炎、胆嚢炎、胆管炎、感染性腸炎、コレラ、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、化膿性唾液腺炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎、炭疽、ブルセラ症、ペスト、野兎病、Q 熱　❷腸チフス、パラチフス
【用】❶1 回 500mg を 1 日 1 回投与する。❷1 回 500mg を 1 日 1 回 14 日間投与する。
【禁】本剤の成分又はオフロキサシンに対し過敏症の既往歴のある患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人、小児等　妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び小児等に対しては炭疽等の重篤な疾患に限り治療上の有益性を考慮して投与すること#
【副】ショック、アナフィラキシー様症状、Lyell 症候群、Stevens-Johnson 症候群、痙攣、QT 延長、急性腎不全、間質性腎炎、劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、汎血球減少症、無顆粒球症、溶血性貧血、血小板減少、間質性肺炎、好酸球性肺炎、偽膜性大腸炎、横紋筋融解症、低血糖、アキレス腱炎、腱断裂、錯乱、せん妄、抑うつ、過敏性血管炎
【妊】未確立、禁忌
【授】授乳回避
【低・新・乳・幼・小】未確立、禁忌

【商】パンビタン　Panvitan　武田
内用：散剤　1g 中レチノールパルミチン酸エステル(レチノールとして 2,500I.U.)、チアミン硝化物 1mg、リボフラビン 1.5mg、ピリドキシン塩酸塩 1mg、シアノコバラミン 1μg、アスコルビン酸 37.5mg、エルゴカルシフェロール 200I.U.、トコフェロール酢酸エステル 1.1mg、パントテン酸カルシウム 5mg、ニコチン酸アミド 10mg、葉酸 0.5mg　［6.3 円/g］
【効】本剤に含まれるビタミン類の需要が増大し食事からの摂取が不十分な際の補給(消耗性疾患、妊産婦、授乳婦等)
【用】1 日 1～2g を投与する。
【禁】妊娠 3 ヵ月以内又は妊娠を希望する婦人へのビタミン A 5,000I.U./日以上の投与(ビタミン A 欠乏症の婦人は除く)
【妊】3 ヵ月以内：禁忌(ビタミン A 欠乏症除く)、大量投与回避
【小】注意
【貯】遮光

＊ピモベンダン　Pimobendan
【商】ピモベンダン　トーアエイヨー
内用：錠剤　1 錠中 1.25mg　［後 81.8 円/錠］
【効】❶下記の状態で、利尿剤等を投与しても十分な心機能改善が得られない場合：急性心不全　❷下記の状態で、ジギタリス製剤、利尿剤等の基礎治療剤を投与しても十分な効果が得られない場合：慢性心不全(軽症～中等症)
【用】❶1 回 2.5mg を投与する。1 日 2 回投与することもできる。必要に応じて、ジギタリス製剤等と併用する。❷1 回 2.5mg を 1 日 2 回食後に投与する。ジギタリス製剤、利尿剤等と併用する。
【副】心室細動、心室頻拍(Torsades de pointes を含む)、心室性期外収縮、肝機能障害、黄疸
【妊】有益のみ
【授】授乳回避
【低・新・乳・幼・小】未確立
【貯】遮光

＊シロスタゾール　Cilostazol
【商】プレタール　Pletaal　大塚
内用：散剤　1g 中 200mg　［438.4 円/g］
【効】慢性動脈閉塞症に基づく潰瘍・疼痛及び冷感等の虚血性諸症状の改善、脳梗塞(心原性脳塞栓症を除く)発症後の再発抑制

【用】1回100mgを1日2回投与する。

【警】本剤の投与により脈拍数が増加し、狭心症が発現することがあるので、狭心症の症状(胸痛等)に対する問診を注意深く行うこと。

【禁】出血している患者(血友病、毛細血管脆弱症、頭蓋内出血、消化管出血、尿路出血、喀血、硝子体出血等)、うっ血性心不全の患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【副】うっ血性心不全、心筋梗塞、狭心症、心室頻拍、出血(脳出血、肺出血、消化管出血、鼻出血、眼底出血等)、汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少、間質性肺炎、肝機能障害、黄疸、急性腎不全

【妊】禁忌

【授】授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

【商】アドエア＜エアー＞　Adoair　GSK

外用：吸入剤(ドライパウダー)

1缶 12g(1噴霧サルメテロールキシナホ酸 25μg、フルチカゾンプロピオン酸エステル 50μg)

［6,618.1円/瓶］

【効】気管支喘息(吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入β_2刺激剤の併用が必要な場合)

【用】成人には50エアー2吸入を1日2回投与する。小児には50エアー1吸入を1日2回あるいは50エアー2吸入を1日2回投与する。

【禁】有効な抗菌剤の存在しない感染症・深在性真菌症の患者、本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者　結核性疾患の患者#

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、重篤な血清カリウム値の低下★、肺炎

【妊】有益のみ

【授】授乳中止

【小】未確立

＊スルファジアジン　Sulfadiazine

【商】テラジアパスタ　Theradia Pasta　第一三共

外用：軟膏剤　5%(10g)　［3.8円/g］

【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、外傷・熱傷および手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染

【用】適量を1日1～数回直接患部に塗布または無菌ガーゼにのばして貼付する。

【禁】サルファ剤に対し過敏症の既往歴のある患者

＊インスリングルリジン　Insulin Glulisine

【商】アピドラ　Apidraサノフィ・アベンティス

注射：液剤㊎　1筒(3mL)中300単位

［2,237円/キット］

【効】インスリン療法が適応となる糖尿病

【用】1回2～20単位を毎食直前に皮下注するが、中間型又は持効型溶解インスリン製剤と併用することがある。中間型又は持効型溶解インスリン製剤の投与量を含めた維持量としては1日4～100単位である。

【禁】低血糖症状を呈している患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】低血糖、ショック、アナフィラキシー様症状

【妊】未確立、注意

【授】注意

【小】注意

【貯】2～8℃、遮光

＊ベンジルペニシリンカリウム

Benzylpenicillin Potassium

【商】ペニシリンGカリウム

Penicillin G Potassium　明治

注射：1瓶中100万単位　［232円/瓶］

【効】❶表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、乳腺炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、淋菌感染症、中耳炎、副鼻腔炎、猩紅熱、炭疽、ジフテリア(抗毒素併用)、鼠咬症、破傷風(抗毒素併用)、ガス壊疽(抗毒素併用)、放線菌症、回帰熱、ワイル病
❷敗血症、感染性心内膜炎、化膿性髄膜炎

【用】❶1回30～60万単位を1日2～4回筋注する。❷通常用量より大量を使用する。

【禁】本剤の成分によるショックの既往歴のある患者　本剤の成分又はペニシリン系抗生物質に対し過敏症の既往歴のある患者#

【副】ショック、溶血性貧血、無顆粒球症、急性腎不全、痙攣、偽膜性大腸炎、Stevens-Johnson症候群、Lyell症候群、出血性膀胱炎

【妊】未確立、有益のみ

【授】授乳中止

＊リスペリドン　Risperidone

【商】リスパダールコンスタ　Risperdal Consta

ヤンセン

注射：㊜　1 瓶中 25mg　　［23,520 円/キット］

【効】統合失調症

【用】1 回 25mg を 2 週間隔で臀部に筋注する。初回量は 25mg とし、1 回量は 50mg を超えないこと。

【禁】昏睡状態の患者、バルビツール酸誘導体等の中枢神経抑制剤の強い影響下にある患者、アドレナリンを投与中の患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】悪性症候群、遅発性ジスキネジア、麻痺性イレウス★ 抗利尿ホルモン不適合分泌症候群、肝機能異常、黄疸、横紋筋融解症、不整脈、脳血管障害、高血糖、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡

【妊】未確立、有益のみ

【授】授乳中止

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】2～8℃、遮光